

台風第 19 号に関する情報連絡室会議

令和元年 10 月 10 日（木）午前 11 時 00 分～
西回廊 2 階災害対策本部会議室

- 1 あいさつ（危機対策課長）
- 2 今後の気象の見込みについて
- 3 その他

台風第19号に関する情報連絡室会議 座席表
令和元年10月10日(木)午前11時00分～ 危機管理センター災害対策本部会議室



令和元年 台風第19号

予想進路と注意警戒事項

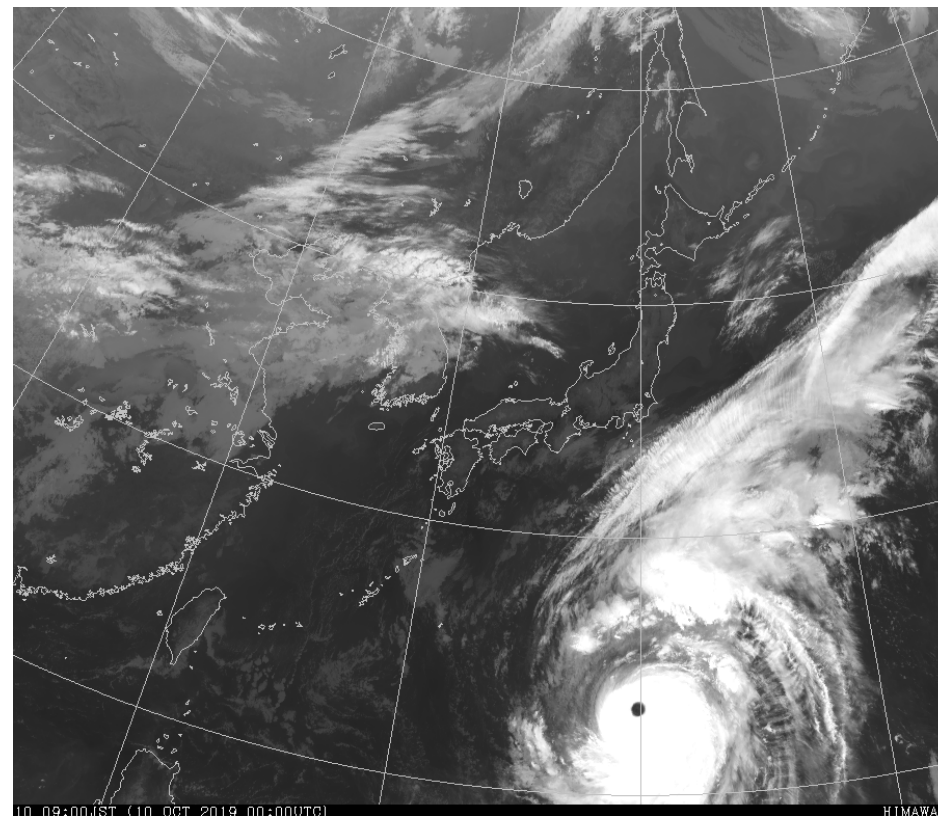
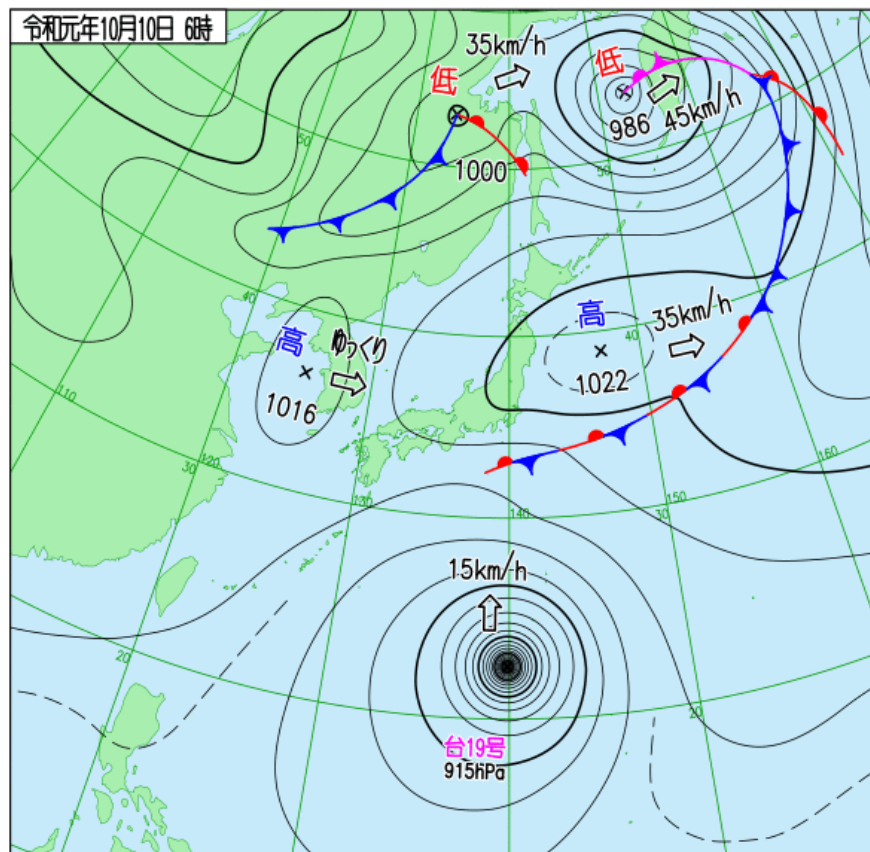
令和元年10月10日

新潟地方気象台

天気図と気象衛星（赤外面像）

地上天気図 10月10日06時

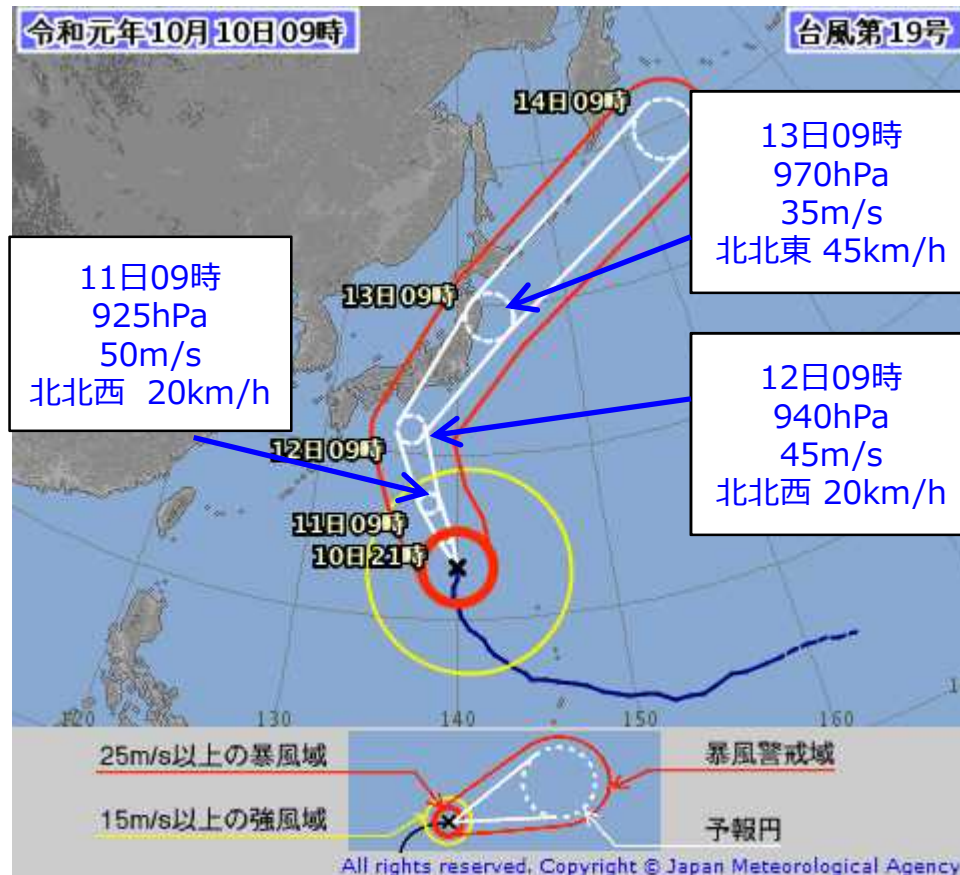
気象衛星 10月10日09時



天気図 : <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>
衛星画像 : <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

台風情報

10月10日09時の進路予報



<10日09時の実況>

大きさ 大型

強さ 猛烈な

存在地域 父島の南南西約490km

中心位置 北緯 23度10分(23.2度)

東経 139度55分(139.9度)

進行方向、速さ 北 20km/h(10kt)

中心気圧 915hPa

中心付近の最大風速

55m/s(105kt)

最大瞬間風速 75m/s(150kt)

25m/s以上の暴風域 全域

240km(130NM)

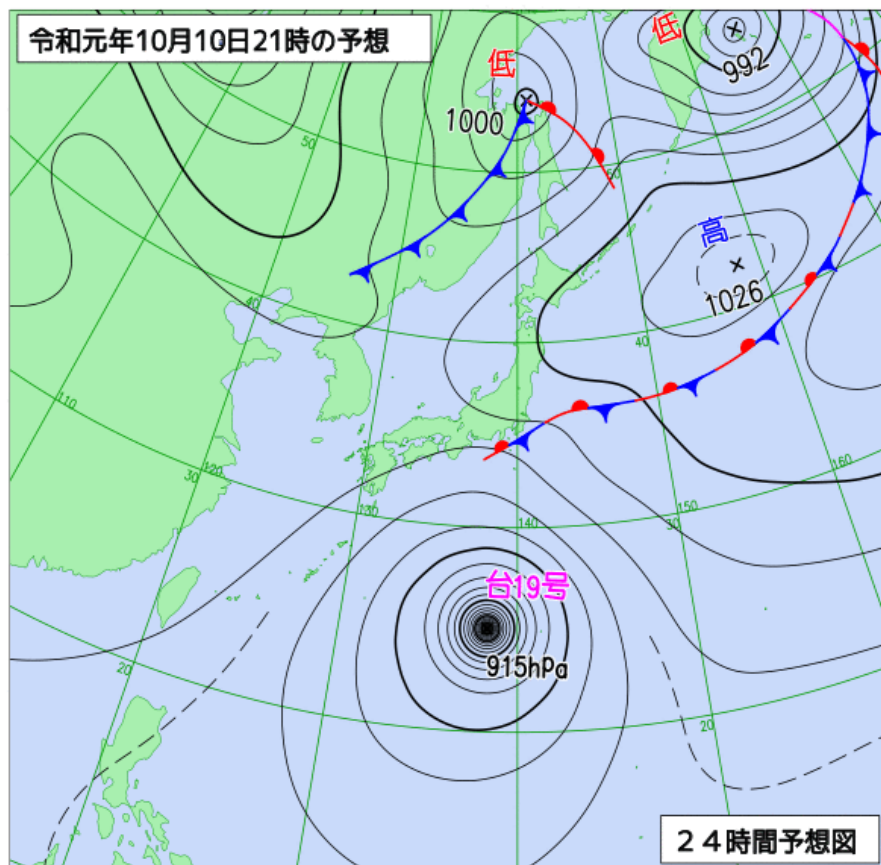
15m/s以上の強風域 東側

750km(400NM)

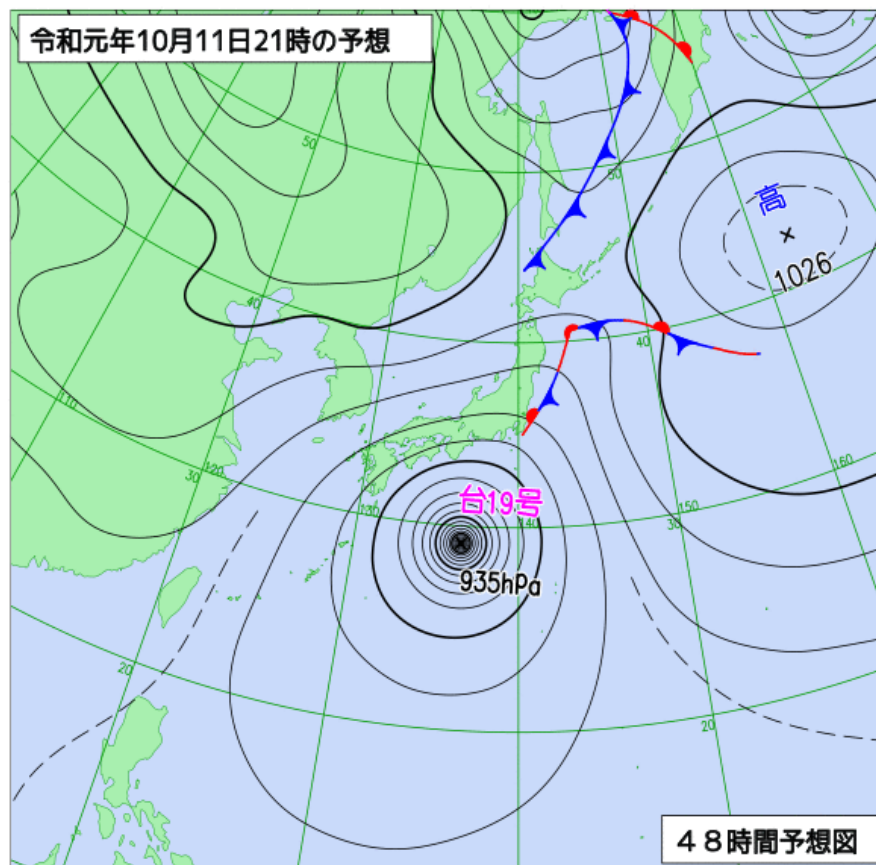
西側 600km(325NM)

予想天気図

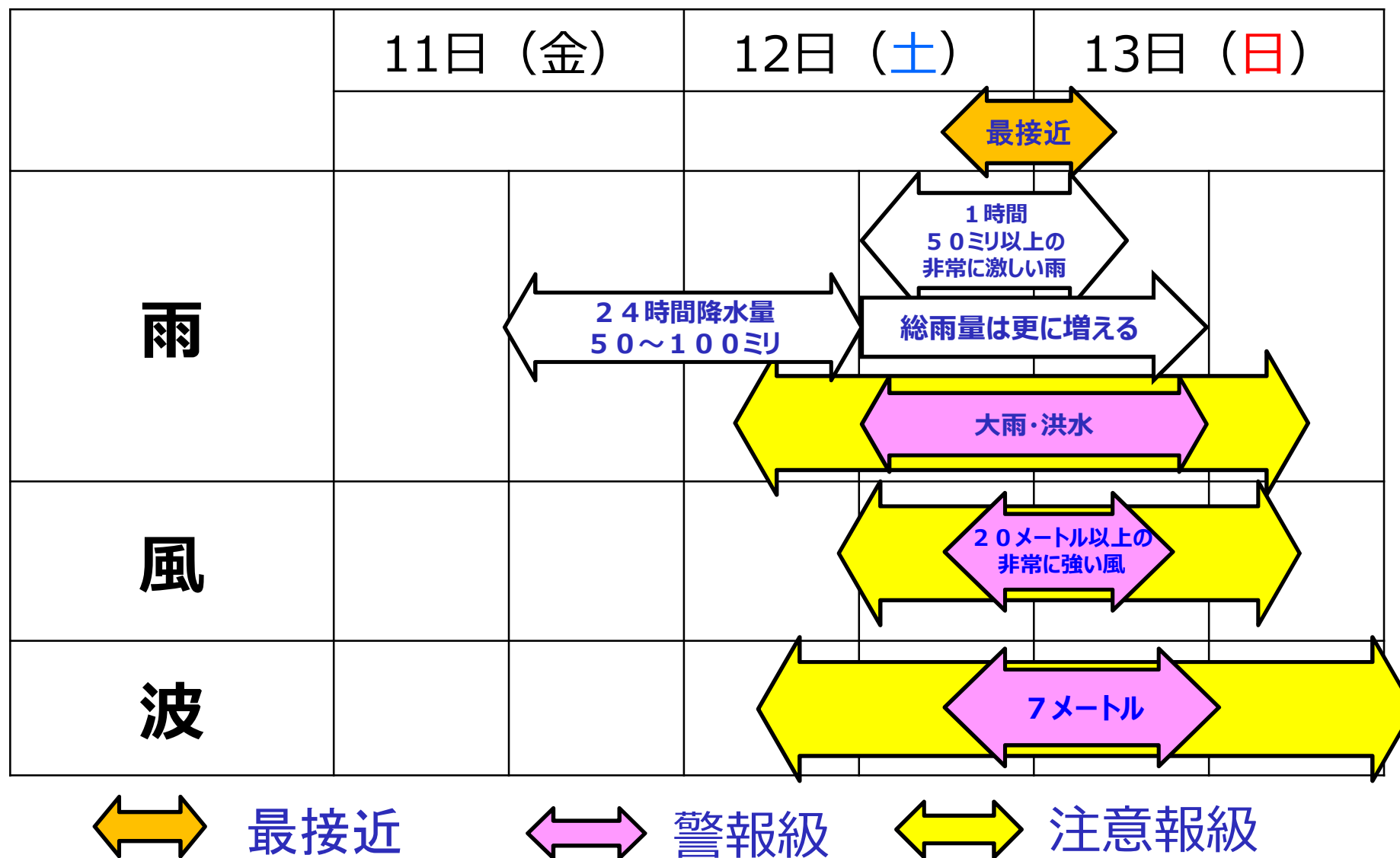
地上天気図 10月10日21時



地上天気図 10月11日21時



新潟県における警報級・注意報級の現象の予想時間帯



お知らせ：令和元年6月18日の地震で揺れの大きかった村上市では、大雨警報・注意報の土壌雨量指数基準を通常より引き下げた暫定基準で運用しています。

早期注意情報（警報級の可能性）

新潟県の早期注意情報（警報級の可能性）

10月10日11時見込み

新潟県		警報級の可能性						
種別		10日		11日	12日	13日	14日	15日
		夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く				
		12-18	18-6	6-24				
大雨	下越				「高」	「高」		
	中越							
	上越							
	佐渡							
暴風	下越				「高」	「高」		
	中越							
	上越							
	佐渡							
波浪	下越				「高」	「高」		
	中越							
	上越							
	佐渡							

〔高〕：警報を発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。
 明日までの警報級の可能性が〔高〕とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を気象警報・注意報のページ（https://www.jma.go.jp/jp/warn/323_table.html）で確認してください。

〔中〕：〔高〕ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。
 明日までの警報級の可能性が〔中〕とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

新潟県への影響 と 防災事項

- 台風第19号は、強い勢力を維持したまま、暴風域を伴って12日から13日にかけて北陸地方にかなり接近するおそれ。新潟県への最接近は、12日夜のはじめ頃から13日明け方の見込み。
 - 風は、台風の接近により12日は北～北東の風が次第に強まり、海上や海岸を中心に夕方頃から暴風となり、13日には次第に北西の風に変わる見込み。**暴風に警戒。**
12日夕方までに、沿岸部の全域に暴風警報を発表する可能性が高い。
 - 波は、12日に、風の強まりに併せて急速に高まり、夕方頃からはしけ、夜には大しけとなる見込み。**高波に警戒。**
12日夕方までに、沿岸部の全域に波浪警報を発表する可能性が高い。
※ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高波による被害を受けるおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要。
 - 雨は、台風が接近する前の12日明け方頃から強まり、台風本体周辺の雨雲が掛かる昼過ぎから13日朝にかけては激しい雨が降り、非常に激しく降る所もある見込み。**土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。**
12日夕方までには、大雨警報（浸水害、土砂災害）、洪水警報を発表する可能性が高い。
※ 土砂災害や河川の氾濫により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要。
- （風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。）

情報の入手先など

★気象情報等は、最新のものをご利用ください。

- ・新潟県の警報、注意報

https://www.jma.go.jp/jp/warn/323_table.html

- ・新潟県の気象情報

https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/323_index.html

- ・メッシュ情報や危険度分布もご利用ください。

土砂 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

浸水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



- ・早期注意情報（警報級の可能性）もご利用ください。

市町村ごとの警報・注意報を選択すれば、下方に表示します。

- ・村上市への支援資料（毎日5時、11時、17時頃に更新）

https://www.data.jma.go.jp/yoho/data/jishin/sien_niigata.html

暴風による災害への備え

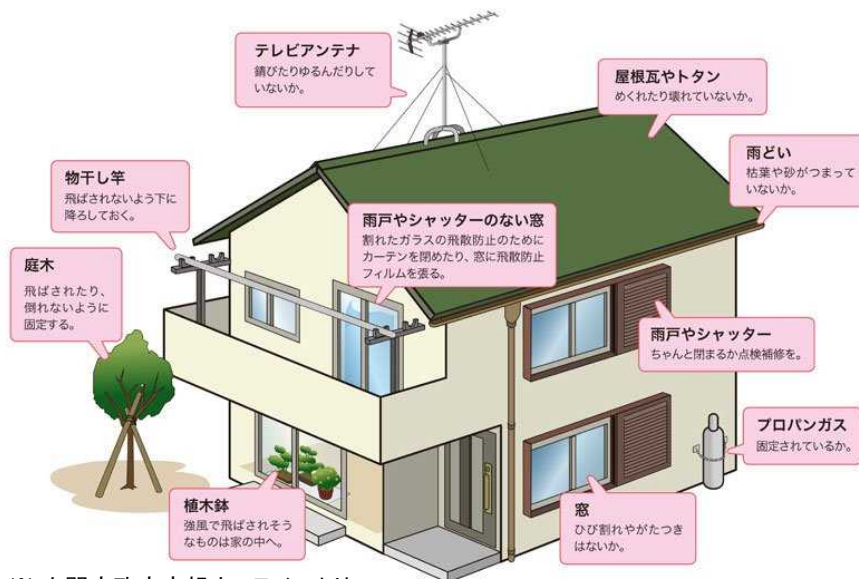
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日								〇〇日		
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	
	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10		
以後も注意報級												

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

《風が強まる前の家の対策》



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまってい ないと立っていられ ない。飛来物によっ て受傷するおそれ がある。		屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	30
25~30 ~約110km/h		細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。		40
30~35 ~約125km/h			固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。		外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
40~ 約140km/h~		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。		60
			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

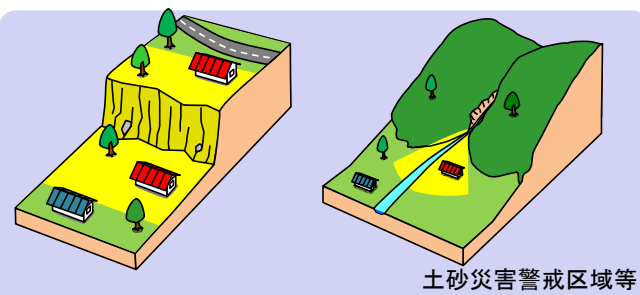
※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

大雨による災害への備え

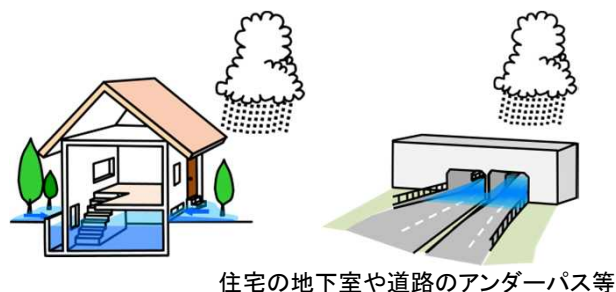
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

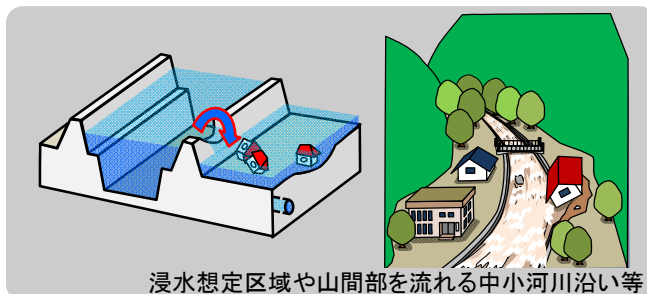
土砂災害



浸水害

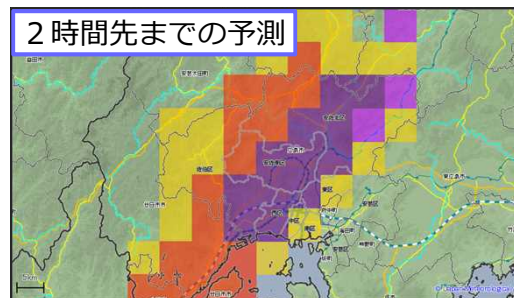


洪水災害

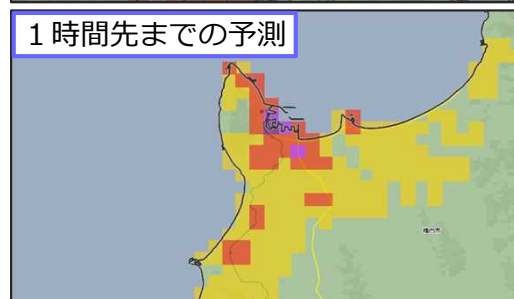


危険度分布

2 時間先までの予測



1 時間先までの予測



3 時間先までの予測



災害の例



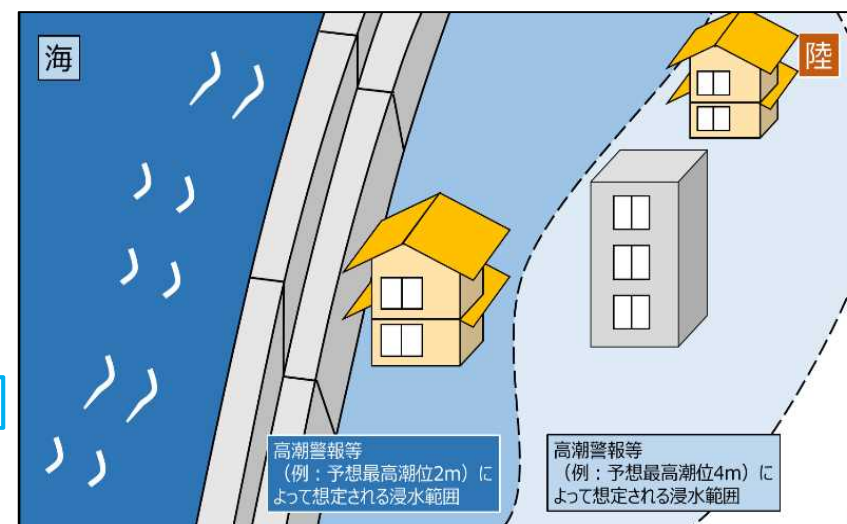
高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸にお近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別		4日								5日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6			
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0											
	(浸水害)										浸水注意		
	(土砂災害)												
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12	予想される波の高さ	
		海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15		
波浪	波高 (メートル)	1.5	2	3	4	4	2	2.5	1.5	1.5	予想潮位(高潮の高さ)		
高潮	潮位 (メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5			ピークは4日16時頃		
雷											竜巻		

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



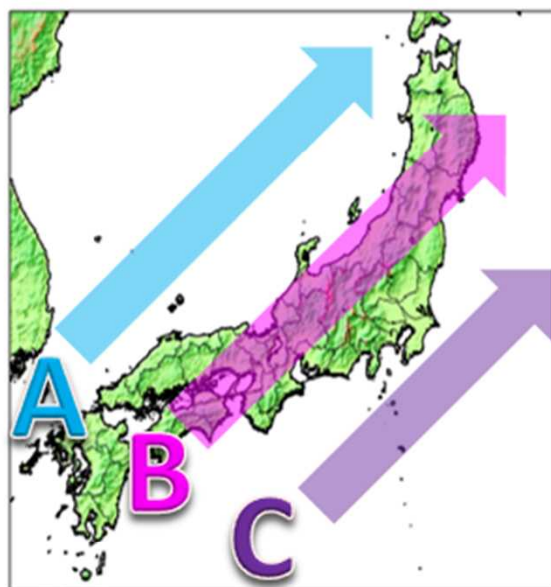
台風第19号は、今のところBコースとCコースの中間を通過する見込み。勢力が強いまま北陸地方に接近するため、海上や沿岸部を中心に風が非常に強く吹き、海は大しけとなる予想。また、台風本体周辺の雨雲も掛かるため、警報級の大雨となる見込み。

新潟県への影響

参考資料

留意点：

代表的な特徴を記述してあります。すべてこうなるとは限りません。



代表的な台風コース

A：日本海コース

南よりの風が強まり、**フェーン現象**となる場合がある。降水量は少ない。

B：新潟県直撃コース

風が強く、雨も多くなる。特に台風本体の雨雲がかかれば、短時間強雨、落雷や竜巻などの激しい突風にも留意。

C：太平洋側コース

雨が主体となるが、勢力の強い台風だと風が強くなる場合がある。

※ 台風接近時に本州付近に停滞前線が存在すると、更に総雨量が増える。